

(様式3)

会議の開催結果について

1 会議名	河内長野市高齢者保健福祉計画等推進委員会
2 開催日時	令和2年7月31日(金) 午後1時30分～午後3時
3 開催場所	市役所 501会議室
4 会議の概要	1. 令和元年度介護保険事業の報告等について 2. 地域包括支援センターの事業運営状況について 3. 第8期高齢者保健福祉計画等策定について
5 公開・非公開の別 (理由)	公開
6 傍聴人数	0人
7 問い合わせ先	(担当課名) 市民保健部高齢福祉課 地域包括ケア推進係 (内線 389)
8 その他	

*同一の会議が1週間以内に複数回開催された場合は、まとめて記入できるものとする。

令和2年度 第1回河内長野市高齢者保健福祉計画等推進委員会

議事概要

〈文責：中條〉

日時：令和2年 7月31日（金）13:30～15:00

場所：河内長野市役所 501 会議室

【出席委員】 神部智司委員（会長）、外山佳子委員（副会長）、生地孝至委員、船多大委員、
工藤兼弘委員、岩井仁委員、浅川恭子委員

【事務局】 東部市民保健部長

（介護保険課）上原課長、若林参事、上田課長補佐、中尾係長

（高齢福祉課）中橋課長、山口課長補佐、中條係長、園山主査、寺澤主査

（地域包括支援センター）

〈東部〉 峯山建道、〈中部〉 佐藤さよこ、〈西部〉 森田理栄子

開会

〈委員委嘱状の交付〉

- ・6月10日付け委員委嘱状を交付。

〈事務局の紹介〉

〈会長・副会長の選出〉

- ・会長には、神部委員（学識経験者）、副会長には、外山委員（医師会選出）が互選される。

案件1、 令和元年度介護保険事業の報告等について

【事務局（介護保険課）から「資料1～4」について説明】

【事務局（高齢福祉課）から「河内長野市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査【別冊】」について説明】

【質疑応答】

（外山副会長）

資料1、4ページの③の介護度別の認定と受給の関係ですが、利用率は少ないということで、総合事業のサービスなどを利用している者もいるということですが、この中で利用者は、どれぐらいの割合を占めているのか？

（事務局）

表の下に、※印で書かせていただいておりますが、要支援1、要支援2の方につきましてはのサービス未利用者については、訪問型サービスC事業、通所型サービスC事業の利用者は除外した形の数字を書いています。

（神部会長）

総合事業の利用実績のデータというのはないのか？

（事務局）

総合事業の利用者数ですが、事業対象者の方が159人、要支援1の方が371人、要支援2の人が546人です。これは3月に利用された人数です。

(神部会長)

数年間の推移として、人数的な増減はどのような特徴があるのか？

(事務局)

1年前の人数は、事業対象者の方が149人、要支援1が363人、要支援2が511人になっていますので、増えています。

(神部会長)

4、50名ほど増えているということですね。わかりました、ありがとうございます。

(船多委員)

別冊の追加資料で、町内会や自治会の参加状況があったが、転入者や高齢の単身のケース等こそ、何かサービスを利用していただいたほうが今後につながると思うのですが、自治会への加入率であったり、町内会の加入率、そういった調査はあるのか？

(事務局)

加入率について、持ち合わせている資料がないので、担当課に確認しお伝えします。

(神部会長)

資料1の5ページ目、受給者一人当たりの給付月額、利用日数という表の中で、短期入所生活介護の数値が突出しているということ、そしてロングショートが多いということが書かれているが、どういう理由、背景でロングショートの利用が突出しているのか？

(事務局)

特養の待機者、家族的な状況等から、在宅生活が困難な方、一部にはサ高住とか、有料老人ホームとかの整備がされてきている中で、そういった老人向けの施設のほうに入られてる方も多数いらっしゃる状況です。

(神部会長)

では、ロングショートへのニーズが特に強いというわけではないのか？

(事務局)

ショートステイを利用されている方の中で、ロングショートを利用する場合はケアマネさんのほうから理由書というのを提出していただいて、確かにそういう必要性があるということでお使いいただいているんですけども、その中で家庭状況や生活環境等により、なかなか在宅での生活が難しいので、やむを得ずそういうものを使っているというところで、特養を希望されている方とか、施設入所の中で順番待ちされている方もいらっしゃる中で金銭的な理由のところ、特養でしたら安いのですが、ほかの施設が空いていても、なかなかすぐ入れないとかという状況もたぶんにあると思っています。

(神部会長)

ということは、次期計画の策定に当たって、短期入所生活介護についてはロングショートの利用の方策を想定した計画値を持って上げるということか？

(事務局)

そうです。引き続き、こういう状況というのは今後も続いていくものというふうに考えてお

ります。

(生地委員)

全体として、近隣の富田林市とか狭山市に比べて高齢化率が高い割には介護の利用割合が少ない、費用が少ないというのは、河内長野市の何かいいところとかメリットみたいなのが何か、どういう原因があるのか？

(事務局)

介護予防の効果であるとか健康に対する意識の向上の他に、できる限り介護の世話にはならないといった地域的なものもあるかもしれない。

(神部会長)

特に、要支援の方の未利用率が高いということですが、要支援1の未利用者の年齢区分の特徴は何かありますか。やっぱり70代とか若い人が多いのか？

(事務局)

未利用者の方の年齢区分の具体的な数字は今持ち合わせていませんが、75歳未満の前期高齢者の方が現状としては多いと思います。

(神部会長)

次期、第8期の計画策定ということで、次年度からの3年間というところが対象になってきます。これからは受給者の方だけではなく、介護者の方も考えていかななくてはならないと思っています。

それから、資料4で、認知症対応型通所介護とかグループホームなどのサービスの整備充実が重要であると書かれていますが、次期の計画策定に当たって、この認知症ケアにかかわるサービスを、どれだけ確保、整備していくかということについてのビジョンは、どのようなものなのか？

(事務局)

現状でグループホーム等の利用をみますと、大方の9割ぐらいは、ほぼ入っている状況ではございます。今後、特に後期高齢者が増加していく中で、認知症になられる方も当然増えてくると考えるので、整備は一定数必要になってくると考えています。

(神部会長)

これらの認知症ケアのサービスの種類もちろんです、その他のサービスの種類におきましても職員の方々の認知症に関する知識を高めていくことや、認知症ケアの技術を向上させていくといった研修などの仕組みも、併せて充実していく必要があるというふうに思いました。

(浅川委員)

この資料の1の3ページで、居住系のものが施設系よりも少ないということが書かれていますが、サ高住だけでも350名ほどいるわけですから施設の希望が多いということではないのか。特養とか老健とかを増やすという、次期のことはしないのか？

(事務局)

特養とか、施設の待機者の中で、金銭的に余裕がある方とかは、高齢者向けの施設、民間機関を利用されている方がたくさん出てこられると思います。

(浅川委員)

結局、施設入所に対するニーズが高いということですから、市としては今後それを増やされるか、もう現状で、もっとサ高住を増やす形にするのか、どういう形の方針を考えているのか？
(事務局)

特養等につきましては、圏域等で整備の数というのが決めていくような形になります。当市は今回7期でショートステイから72床転換があって、ある程度、その数も確保した状況です。ただ、地域密着型サービスと違いまして、他市からの利用も当然ございますので、当市単体でなく、南河内等の広い圏域で考えていかないといけないと思います。また、有料老人ホームや地域密着型の小規模特養等については、ある程度、需要を見定めた上でニーズを今後計画の中で考えていかなければいけないと考えています。

(神部会長)

自宅に代わる生活の場として、どのようなものを整備していくのかという観点で見えていくと、介護保険施設、サ高住、地域密着型のグループホームなど、自宅に代わる生活の場として、どのような特徴を持った暮らしの場が提供できるのか。特養だけが全てではないと思いますので、地域密着型のグループホームやサ高住がいい方もいるとは思いますが、そのバランスを視野に入れていく必要があると思います。

案件2、 地域包括支援センターの事業運営状況について

【地域包括支援センター長から資料5-1及び5-2について説明】

【質疑応答】

(浅川委員)

1の相談者の相談状況のその他で、警察や地域の見守り隊から相談があるということですが、例えば警察なんかは、どんな相談があるのか？

(事務局)

中部包括でいいますと、警察が対応した「認知症が原因と思われるが、自宅で非常に大声を出したり、暴力行為があり、家族が通報したケースや認知症の人を近所の人が発見・連絡したケース」で福祉の支援が必要な場合や、「警察が保護した認知症が疑われるケースについて包括支援センターが把握している情報の問合せ」が多いです。

(浅川委員)

ガソリンスタンド等は、どんな相談を受けるのですか。

(事務局)

「頻繁に給油に来られるが、毎回給油の仕方が分からない」「車の損傷がひどいので非常に気になる」等の相談をスタッフから受けることがあります。

(浅川委員)

そういうときは地域包括支援センターとして、どういう動きをされるのか？

(事務局)

例えば名前や自宅等が分かれば、地域の民生委員等に連絡を取り情報収集し、社協等、関係機関等と共有し、訪問等何とかお伺いできる方向で動きます。

(神部会長)

包括支援センターの方々が重点的に取り組んでおられる内容というところは、特に地域の課題と密接につながっていくと思いますし、これからも引き続き積極的なご活動をお願いします。

また、コロナの蔓延によって、なかなか介護面でも活動に支障を来しているのではないかと思います。また、せっかく地域に参加しておられるようになった方々が、またこもってしまったりだとか、そういったことにならないようにいろいろと考えて活動をしていただければと思います。

案件3、第8期高齢者保健福祉計画等策定について

【事務局から資料6について説明】

(神部会長)

それでは、以上をもちまして令和2年度第1回河内長野市高齢者保健福祉計画等推進委員会を終了させていただきます。

【終了 15:00】